

「外遊び」が好き！

子どもたちがもっと自由に、もっと
思い切り外遊びできる環境が欲しい！

何だか
ワクワクしたい！

なんとなくこの
チラシが気になる！

みんなみんな、集まれ！

キセラ川西に新たにできる中央公園で冒険遊び場（プレーパーク）を作ろう！ プレーパーク作り 始まりの講座 全3回

第1回 外遊びで育つ子どもの力

プレーパークとは、子どもが自由に遊べる遊び場です。
一般公園にありがちな禁止事項をできるだけなくし、地域
住民と行政とプレーリーダーで協力しながら、できる限り
子どもの「やってみたい！」を実現するための遊び場です。
今の子の遊び環境について、一緒に考えましょう！

「やってみたい」を「やってみれる」遊び場【プレーパーク】の紹介

日時：2015年3月15日（日） 13時～15時

場所：アステ川西6階 アステ市民プラザ マルチスペース2

当会場には専用駐車場はございませんので公共交通機関でお越し下さいますようお願いいたします。
なお、お車で越しの方はアステ川西地下駐車場（有料）もしくは、川西市役所駐車場（当日無料）をご利用下さい。

内容：講演「外遊びで育つ子どもの力」

講師：関戸 博樹さん（日本冒険遊び場作り協会 理事）

参加費：無料

定員：40名（先着順）

おまけ

15時～続けて開催

遊び場に必要安全講習（講師：関戸 博樹さん）

内容：外遊びでの怪我について / 応急手当講習 等
ご希望の方のみ、そのままご参加ください。

第2回 近隣プレーパークで遊ぼう！ @にしのみや国有地プレーパーク

日時：2015年4月25日（土） 10時半～16時

場所：西宮国有地プレーパーク（現地集合・現地解散）

内容：国有地プレーパーク代表 米山さんのお話
「地域に根ざしたプレーパーク」「面白さと大変さ」など
昼飯作ろう会（カレー）
当日、カレーに入れる具材一品と自分の分の食器・ご飯やうどんを持参。
みんなで大鍋でカレーを作って食べます
自由遊び

参加費：無料

子連れも大歓迎！
一緒に思い切り
遊ぼう！

第3回 天野秀昭氏講演会

「子どもの根っこは【遊び】で育つ ～遊ぶことの本当の意味と価値～」

日時：2015年5月23日（土） 14時～15時50分

場所：川西市役所7階 大会議室

内容：日本初の有償プレーリーダー 天野秀昭氏による講演会
（子どもの遊び・育ち・自由な遊び場と川西での実現の可能性について）

講師：天野 秀昭氏（日本冒険遊び場作り協会 理事）

参加費：無料

定員：130名（先着順）

著書『よみがえる輝く子どもの笑顔』『子どもは大人の育ての親』『遊びが社会を変える』など。

子どもの遊びと育ちに興味ある方なら、間違いなくおもしろい話が聞けます！詳細は別途お問合せください。

問合せ先

〒666-8501 川西市中央町12-1 川西市中央北整備部地区整備課（市役所5階）担当：半田、藤田

電話 / 072-740-1207 FAX / 072-740-1330

Mail / kawa0193@city.kawanishi.lg.jp

プレーパーク（冒険遊び場）ってなんだろう？

プレーパークとは、子どもたちがやってみたい事に自由に挑戦できる遊び場です。

こどもから「自由」を奪うのは簡単です。

泥んこ遊びをしようとしたときに「汚いからやめなさい。」
木登りをしようとして「怪我したらどうするの？」
大きな声を出して遊んでいたなら「静かに！（周りに迷惑ですよ！）」

どの声かけも、時と場合と価値観によっては「常識的」な声かけなのかもしれません。

でも、そんな一言の積み重ねが、子どもの「やってみよう！」という気持ちを奪い

何をするにも大人の顔色を見て、常に指示を待つ人間になり得る...
そんな危うさを兼ね備えています。

プレーパークとは、子どもたちに責任を返してあげて、子どもが自由に遊べる事を大事にした遊び場です。



- 泥んこ遊び 体中泥だらけ！でも、おもしろいね。
（（大人の声）これは、汚れてもいい服で遊ぶようにしようね。）
- 木登り 落ちたら痛い。でも、意外にバランスとるのうまい。
（腕の力がない子は高くまで登れないから意外に大きな怪我はしないんだね。
小さいころから登っていると、腕の力がついた頃には高所で気をつけられる力が付いてるね。）
- 大きな声 出すと気持ちいいね。
（そういえば子どもって、ウルサイのが当たり前だったね。）

プレーパークの事をもっと知ってもらいたい。みんなの思いも聞きたい。
そして、自分たちの地域にも、自分たちの手で、子どもが本気で遊び込める安心安全な場を作りたい。
そんな市民の声から、プレーパーク講座が開催されることになりました。

「おもしろそう！」「やりたい！」「かかわりたい！」「興味がある！！」 そんな人だけじゃなく、
「よくわからない」「不安がある」「自分に何ができるか想像つかない」「忙しくてあまり動けない」

など、ちょっと戸惑っている方にも是非参加して頂きたい。
もっと知ってもらうため、そしてできるだけ不安も共有して、この地域にベストな形を模索するため。
ぜひ一度、話を聞いてみてください。

<多くのプレーパークは地域住民によって管理運営されています>

公園のクレームは通常、役所に入ります。関東の話ですが、「うちの子が雨上がりの公園の水たまりで遊んで汚れました。公園の水たまりをなくして下さい。」というクレームで、区職員が公園に砂を撒きに行くなんて事が実際にあったそうです。そんな現状では、子どもはなかなか自由には遊べません。

プレーパークでは市と協働しながら「地域住民が管理運営する」事を大切に考えます。それは、「子どもの遊びを大切にしたい住民」と、「困ったことがあり改善してもらいたい住民」が、どうすれば子どもの自由を守りながら困った事を減らせるか、同じ「住民」の立場で考え、話し合えるからです。

「水たまりで遊ぶと汚れるけど、目を輝かせ、五感を使って全身で遊んでいる。水たまりから横に溝を掘ったら、水が高い方から低い方に流れて、遊びながら「重力」について考えを巡らせ、もっといろんな実験をしていた。」等と知ったら、「ただ服が汚れるから水たまりは不要」との考えが変化するかもしれません。

役所には、応援の声や良いと思っている事ほど声が上がらず、改善希望要望ばかりが入りがちです。結果、「禁止事項」を増やさざるを得ません。市民が管理運営をし、応援をし、自分たちの手で管理・改善・変化し続けることで、禁止事項のなるべくない公園を、行政と良いパートナーシップの中で築けるのではないかと考えています。
できる人が、できる事から、できる分ずつ、楽しみながら。

自分たちの地域にも子どもが本気で遊べる場を作る。そんな仲間になりませんか。